

1. 調査目的等

中学校全学年の生徒の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善及び進路指導に役立てる。

2. 学校ごとの指標

標準偏差値において、県の標準偏差値を上回る。

3. 指標にむけての取組

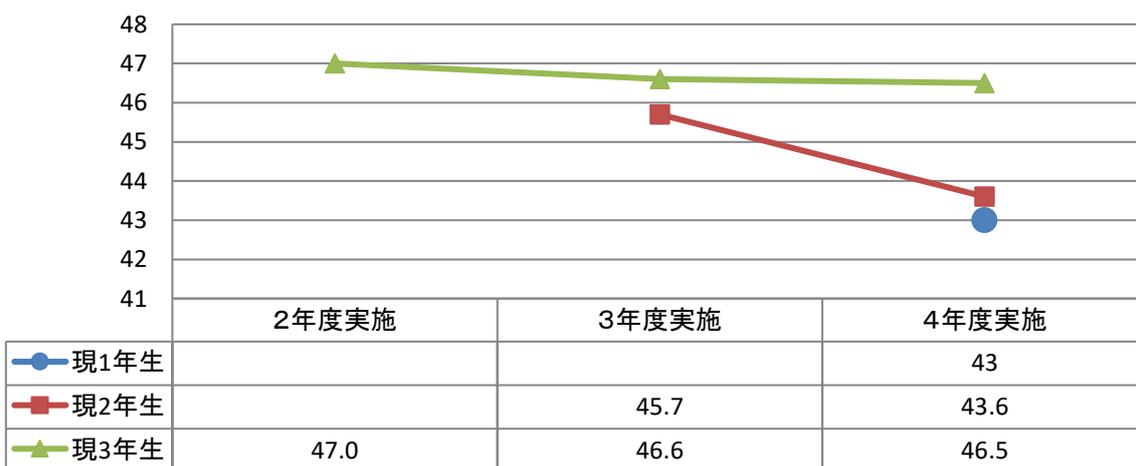
- 基礎・基本の定着
 - ・一単位時間の中で、学習内容の定着を図るミニテストを実施する。
 - ・計画的な朝学習の実施(基礎・基本の定着を図る問題をスモールステップで実施)
 - ・一年間のまとめのテストを実施する。
- 授業づくりの改善と家庭学習の質と量の向上
 - ・授業づくりと自学ノートの取組との連動と充実(1日の学習内容をまとめる)
 - ・個に応じた課題の提示
- 定期テストにB問題を取り入れるなどの見直しと、それに対応した授業づくりを協議する教科部会の実施
- 各教科における領域別の得点率などの細かなデータから、実態や課題を把握し、系統性のある改善策を立てる。

4. 調査結果

※学校平均5年間の推移 (標準偏差値50に対して)

年度	30年度	31年度 (元年度)	2年度	3年度	4年度
本校(A)	48.8	49.6	49.2	47.3	44.4
嘉麻市(B)	49.3	48.8	48.6	47.1	46.0
(A) - (B)	-0.5	0.8	0.6	0.2	-1.6
標準偏差値との差 (A) - (50)	-1.2	-0.4	-0.8	-2.7	-5.6

各学年の推移



5. 各学校における分析

- ・四分位層で見ると、2・3年生においては、C・D層の割合が1月の学力検査に比べて減少している。これは各教科の授業において学習内容の定着を図るミニテストや自学ノートの取組、計画的な朝学習、個に応じた週末課題の実施など、継続的に取り組んできた結果だと考えられる。しかし、全体で見ると、それぞれの教科において基礎基本を定着させるのに時間を取られ、活用問題まで行きつかないまま次年度を迎えることになったことがA・B層がなかなか増えない要因の1つと考えられる。
- ・3年生は、入学時からほぼ横ばいの状態である。3年生から不登校傾向の生徒が登校するようになり、学級内での教え合い活動などを積極的に取り入れている。
- ・2年生は入学時から数値が大幅に減少している。休みがちな生徒に対して、継続的な指導が入らないことが要因であると考えられる。
- ・1年生は、小学校からの基礎・基本の定着ができておらず、低い数値を示している。
- ・『ことば力』に関する資料としては、1年生において、習得レベルがB(L)「教科書内容の理解に相当の努力を要する」、またはC「教科書内容の理解に苦勞する」の生徒の割合が、43.7%を占めており、語彙力に課題がある。また、1年生において、段階1の生徒の割合が、71名中17名と学力の二極化が顕著に数値に現れている。

6. 各学校における今後の取組

- 基礎・基本の定着
 - ・一単位時間の中で、学習内容の定着を図るミニテストを実施する。
 - ・計画的な朝学習の実施(基礎・基本の定着を図る問題をスモールステップで実施)
- 授業づくりの改善と家庭学習の質と量の向上
 - ・授業づくりと自学ノートの取組の連動と充実
 - ・個に応じた課題の提示
- 定期テストにB問題を取り入れるなどの見直しと、それに対応した授業づくりを協議する教科部会の実施
- 各教科における領域別の得点率などの細かなデータから、実態や課題を把握し、系統性のある改善策を立てる。
- 短期的なPDCAサイクルの実施
- 授業規律の確立に向けた、稲築中学校区としての取組の推進(『授業の約束』の徹底)
- 学力向上に向けた小中の連携(小中の学力向上コーディネーターの定期的な会議の設定)

7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◎ 今後の取組を具体化し推進できるように、特に次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。
 - ◆ 嘉麻市学力向上全体構想に設定した学習評価からの授業づくり(指導と評価の一体化)や思考を伴う「書く活動」を核とした授業づくりの推進する。そのために、校内研修での授業観察指導を実施したり、「書く活動ポイント9」や「授業チェックリスト」を活用できるように指導助言や支援を行ったりする。
 - ◆ 嘉麻市学力向上推進員会に基づく学力向上検証委員会を開催し、単元テスト評価後の個に応じた習熟度別指導を取り入れた指導方法の工夫を推進する。そのために、習熟度別指導の単元づくりや個に応じた補充プリントの活用の仕方について指導する。
 - ◆ 嘉麻市学力向上全体構想に設定した「家庭学習の取組」を推進する。そのために、個に応じた学習課題の提示を進めるとともに、自学の習慣化に向けた具体的な取組を提示したり各学校の取組のよさを交流する場を設定する。